

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健センター維持管理				整理番号	535		枝番号					
所属部課名		荻窪、高井戸、高円寺、和泉、上井草各保健センター		コード	49350		連絡先電話番号	4526		昨年度整理番号	405			
係名 業務係					上位施策名					No				
予算事業名 保健センター維持管理					コード					健康なまちづくりの推進		22		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区保健所の設置等に関する条例									
	保健センターを利用する一般区民及び保健センター職員				(3) 杉並区保健所センター条例									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 庁舎・設備機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕				活動指標名(式)									
				(1) 建物面積										
				(2) 保守委託契約件数										
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって、快適な環境を整備する。				成果指標名(式)										
				(1) 不具合件数										
				(2)										
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
							計画		計画		年度			
指標	活動指標(1)		㎡	5,893		5,893		5,893		5,893				
	活動指標(2)		件			51		51		51				
	成果指標(1)		件			94		90		60				
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	139,015		106,067		71,516		66,647		61,191	特記事項 保健センター面積(㎡) 荻窪 = 1,335.88 高井戸 = 1,356.74 高円寺 = 1,764.74 (分室含む) 上井草 = 815.37 和泉 = 620.18 計 5,892.91	
	(内)委託費		千円	34,863		35,948		35,007		33,331		31,432		
	職員数(正規 非常勤)		人	9.47	0.00	7.45	0.00	7.88	0.00	6.45	0.00	6.28		0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	86,016		67,668		71,574		58,585			57,041
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 ++		千円	225,031		173,735		143,090		125,232		118,232		
	単位あたりコスト ÷		円	38,186		29,482		24,281		21,251		20,063		
	財源	受益者負担分		千円	48		220		149		279			221
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	48		220		149		279			221
差引:一般財源 -		千円	224,983		173,515		142,941		124,953		118,011			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.1		0.1		0.2		0.2			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		少子化の進行、育児不安をもつ親の増加など、児童虐待の表面化など子供を取り巻く環境が深刻さを増している。また、成人健診が医療機関に委託されるなど、健康診断から健康づくりや生活習慣病にならないための健康教育などへ施策の重点が移ってきている。保健センターの施設面では、施設及び設備の老朽化が進行している。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		トイレの換気不良、冷暖房の不備、エレベーターの設置など施設の老朽化に伴う要望がみられる。また、センターの場所がわかりにくいところもある。											
	今後の予測		健診・相談事業の必要性、地域活動の重要性は高まるばかりである。その拠点として十分な活動を行うためにも、設備の計画的な更新が必要であるが、大規模修繕は財政や空間の余裕がなく、実現は困難である。日々施設の状況把握につとめているのを継続していく。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	93.2
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	日々の各種メンテナンスを実施することにより、安全な施設運営ができています。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	ISO14001の趣旨に沿い、使っていない部分の消灯や空調の効率的使用などを光熱水費の削減をはかっている。その他、各センターの実情に応じ、備品の更新や設備の改修を行い、快適に施設利用できるよう努める。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼		理由:すべての区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診査や相談など年代別に応じた保健サービスを提供する施設であり、区民の保健福祉への貢献度は大きいと考える。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼		理由:地域保健法及び区条例に基づく設置施設であり、区職員が勤務する保健センターの維持管理は、区の事業として不可欠である。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他 ▼		理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼		理由:地域保健法に基づく利用者または保健センター条例による利用者であり、使用料条例に基づく現在の受益者負担は適切である。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼		理由:対象者は保健センターの利用者であるため、変更することはできない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(その他) ▼		理由:節水、節電による光熱水費の削減、IT化によるペーパーレスの促進、ごみの減量化。施設保守管理において委託契約内容の見直しによる委託料の効率化。			
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 高齢者、障害者、難病患者の来所が今後も見込まれるので、施設のバリアフリー化を検討していく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 保健と福祉の連携強化をはじめとする、保健所業務の見直しが検討の対象となることが考えられる。その結果しだいでは保健センターの業務にも影響が生じる可能性がある。センター相互で連携し、利用者にとって利用しやすい施設を目指す。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 各センターの建築、設備関係で改修工事を要する。					